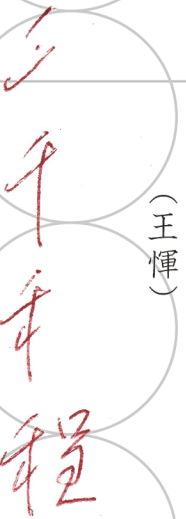




二首萬萬



唐 顔真卿(七〇九〜七八五)  
 行書の代表作の争座位稿、他に  
 祭姪文稿、祭伯文稿の倣書で  
 書いています。懐が広く線に  
 肥瘦(線の太い細い)の変化が  
 あります。筆をゆっくり運び  
 字形を向勢にして、重厚です。

ばんこせいでい な  
 萬古世程と為る

後世長く人々の法式となり模範となる  
 (王暉)